

2022年度

韓 国 留学報告書

実習先： 慶熙大学 国際教育院

実習期間： 9月25日 ～ 2月27日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21019013
氏名：岩野ひかる

目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	3
4-1. 留学のスケジュール	3, 4
4-2. 留学の詳細	6, 7
5. 当初目的・目標への達成度	7
6. 反省点・課題	7
7. 謝辞	7

付録

留学日誌と文化について	7, 8
-------------	------

1. 留学先及び実習期間

留学先：慶熙大学 国際教育院

実習期間：令和4年9月25日(日)～令和5年2月27日(月)

2. 留学先概要

(1) 大学について

慶熙大学は、1949年に創設され、ソウル・スウォン・カンヌンの3つのキャンパスに、20の単科大学・7学部・75学科・15専攻、一般大学院に加え6つの専門大学院、9つの特殊大学院を備える総合大学である。世界80か国、500校以上の大学と交流提携しており、国際交流を積極的に行うグローバルな大学である。

(2) 大学で行われている教育について

プログラムが提供される国際教育院 韓国語教育部は、1993年の開設以降、大韓民国政府をはじめ、主要機関の韓国語及び韓国文化研修プログラムの委託を受ける等、優れた専門機関としての評価を受けているほか、国家支援事業の誘致も積極的に行われている。毎年世界100余か国・6000名以上もの留学生が韓国語を学んでいる。授業のクラスは、初級1から上級2までの6段階に分かれており、自分のレベルにあったクラスで学ぶことができる。また、留学生一人に対して慶熙大学の学生、大学院生が一人付く「トウミ(チューター)制度」があり、韓国語能力の向上や留学生活のサポートをしてくれる。

3. 留学目的

留学の目的は、語学力の向上及び異文化交流である。日本では、韓国語の授業数が限られており、日常的に韓国語に触れる機会がないため、自身のスキルアップを感じることができていなかった。今回の留学を通し、一人ひとりのレベルにあったクラスでの授業に加え、日常的に現地のネイティブな発音に触れることで、自身のスキルアップに繋がりたいと思い、留学を決意した。また、実際に韓国の文化や歴史に触れ、理解を深めること、韓国だけではなく他国の留学生など、様々な人との交流することにも重きを置いた。

4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

(月～金曜日の 9:10～13:00 まで授業)

月	日	内容
9	25	到着、入寮、PCR 検査
	26	日用品の買い出し
	27	オリエンテーション
	28	授業開始(秋学期)
10	4	セミナー授業
	8	漢江花火大会
	9	セミナー授業視察
	11	セミナー授業
	13	文化授業(韓国旅行)
	15	イテウォン祭り
	18	セミナー授業
	20	文化授業
	22	景福宮観光
	25	卒業論文中間発表会
	27	文化授業
	30	ソウル観光
11	1	セミナー授業
	3	文化授業
	4	セミナー授業視察
	5	ピクニック
	8	セミナー授業
	10	文化授業
	15	セミナー授業
	17	文化授業
	22	セミナー授業
	24	文化授業
12	1	文化授業
	5	期末考査(話す)
	6	期末考査(文法、読み、聞き取り)
	7	文化授業(クリスマスカード作り)
	8	修了式
	9	休暇
	10	↓

	1 1	↓ 濟州島旅行
	1 2	↓ ↓
	1 3	↓ ↓
	1 4	↓
	1 5	授業開始(冬学期)
	2 4	クリスマスパーティー
	2 7	セミナー授業
	2 9	ロッテワールド
	3 1	エバーランド
1	3	セミナー授業
	5	文化授業(k-pop)
	1 0	卒業論文最終発表会
	1 2	文化授業
	1 4	釜山旅行
	1 5	↓
	1 6	漢江
	1 7	セミナー授業
	1 9	文化授業
	2 0	麗水旅行
	2 1	秋夕 ↓
	2 2	↓ ↓
	2 3	↓
	2 4	↓
	2 6	文化授業
	2 9	TOPIK 受験
	3 1	セミナー授業
2	2	文化授業
	5	ソウル観光
	7	セミナー授業
	9	文化授業
	1 2	水原観光
	1 4	セミナー授業
	1 6	文化授業
	1 7	映画館
	2 1	期末考査(話す)

	2 2	期末考査(文法、読み、聞き取り)
	2 3	文化授業(スマホリング作り)
	2 4	修了式、PCR 検査
	2 5	ソウル観光
	2 6	ソウル観光
	2 7	帰国

時間割

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 限	9:10 ～ 10:00	文法	文法	文法	文法	文法 (復習)
2 限	10:10 ～ 11:00	文法	文法	文法	文法	文法 (復習)
3 限	11:10 ～ 12:00	リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの授業が ローテーションで行われた				
4 限	12:10 ～ 13:00	リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの授業が ローテーションで行われた				

4-2. 留学の詳細

<授業概要>

・文法

毎日1,2限に行なった。テキストを用い、先生の説明を聞いた後、練習問題に取り組んだ。学んだ文法を実践で活かす課題発表もあった。

・リーディング

重要表現を学び、テキストの文章を読解していく授業。

・リスニング

重要表現を学び、短い会話と長い会話を聞き、テキストの問題を解く授業。

・スピーキング

テキストのテーマに沿い、授業で習った文法や表現を用いて、ペアで会話文を作る授業。

1学期に5回、テストもある。

・ライティング

テキストのテーマに沿って、自身の考えを文章にする授業。TOPIK で使える表現が多く、対策になった。

・セミナー授業

新潟国際情報大学の学生だけが受講する授業。設定されたテーマに沿い、2人ペアでパワーポイントを用いて発表した。

秋学期：ソウルの観光地について

冬学期：韓国の文化、社会問題について

・文化授業

新型コロナウイルスの影響により、オンラインで行われた。自身のレベルや興味によって、6つの授業から選択することができた。

秋学期：韓国旅行

オンラインで韓国の観光地やグルメの紹介動画を視聴した。その土地の文化や特徴なども知ることができ、休日に友人と実際に観光に行ってみたりした。

冬学期：k-pop

曲の歌詞や表現を学ぶ授業。春夏秋冬や先生の好きな曲など、普段あまり聞かないk-popにも触れることができた。

5. 当初目的・目標への達成度

この留学において、語学力の向上が目的であった。留学前と比較し、スピーキング力・リスニング力が確実に向上していることを実感することができた。日々の予習・復習、授業の取り組みに加え、積極的に韓国語に触れることが大切であると感じた。また、韓国人との関わりや観光を通して、韓国の文化や歴史などについて理解を深めることができた。

6. 反省点・課題

韓国人との関わりが少なかったことである。語学堂は、韓国語を学ぶ外国人が勉強する場所であり、実際に韓国人はいないため自身で行動し、関わりを持たなければならない。日韓交流会や趣味活動など、もっと積極的に参加・行動すればよかったと感じている。日本でも、日韓交流イベントなどがあつたら、積極的に参加したい。

7. 謝辞

今回、韓国留学先で支援して下さった慶熙大学国際教育院の教職員の方々、留学前から準備や支援をして下さった新潟国際情報大学の教職員の方々、この度の奨学金の授与、この制度を支えて下さっているすべての方々にご心よりお礼申し上げます。皆様のおかげで、

安全に、そして楽しく留学生活を送ることができました。この留学生活は、人生において忘れることのない貴重な経験となりました。この度は誠に有難う御座いました。

付録：留学日誌

・寄宿舎と生活について

大学から徒歩 15 分程のチャンドクアンという寄宿舎で生活した。部屋は二人一組であった。部屋には二段ベッド、机、クローゼットがあり、キッチンには IH と流し場、食器棚があった。また、洗面所にはトイレ、洗面台、シャワー室があった。寄宿舎の近くには、スーパー、コンビニ、飲食店、駅があり、快適に過ごすことができた。節約のために基本的には自炊をし、時々友人と外食もした。生活費は 1 ヶ月平均 7,8 万円程であった。

・トウミについて

留学生一人に対して韓国人の学生が一人ついて、生活や勉強などを支援してくれるトウミ制度がある。連絡手段として、カカオトークという SNS を使用した。1 週間に 1 回程度、一緒にご飯を食べに行ったり、観光に行ったりした。この制度は、韓国語能力の向上に役立つ大切な制度であった。

・休日について

ソウルだけではなく、様々な観光地に行った。最初は、店員などと韓国語で話すことに不安があったが、勉強していくうちに慣れてきた。



